国立西洋美術館アクティビティブックの使い方

常設展や建物を楽しむきっかけをつかむためのアクティビティ（鑑賞を促すワーク）をまとめた冊子です。気になる作品について書き込みながら鑑賞することでじっくり見ることを促します。児童生徒の興味や学習のめあてなどによってアクティビティを選んでご利用ください。はじめてのご来館でも施設に親しんでいただけるよう、まずは楽しく過ごすことをご提案するイラストページもご用意しています。

①PDF をダウンロードしてください。
②つかうアクティビティを決めて、印刷してください。
　※すべてのページを印刷する必要はありません。ひとつずつ内容が完結しています。
③えんぴつやボードなどの筆記用具と一緒にご持参ください。
　※展示室で使えるのはえんぴつのみです（ペン、消しゴム不可）。ボードのお貸出しはありません。

内容のご紹介

ページ・タイトル	めあて、児童生徒の様子	内容、効果など
p.2-3（イラスト） 美術館を楽しむ 100 のこと	美術館でどうしたら良いかわからない・美術館に親しむきっかけを得たい	建物や作品をはじめ、美術館という空間の楽しみ方をご提案しています。簡単なマナーも学べます。 ※掲載以外の楽しみ方もみつけて加えていただきたいという気持ちで 100 と表しました
p.4 じっくりメモ	作品をよく見てほしい・作品鑑賞に慣れさせたい	第一印象や作品の要素をメモできます。よく見ることで、様々な気づきを得る練習になります。
p.5-6 スケッチ	作品をよく見てほしい・言語以外の活動を取り入れたい	自由な描画・書き込みができる白紙のページです。描くことで作品を細部まで見ることができます。気づきや疑問をメモするなど自由につかえます。
p.7 好きな眺め／ 気になるポイント	建築を見せたい・空間に親しむ	好きな場所を探してメモ・スケッチし、当館の特徴的な建物や庭を味わいます。絵でも文字でも書き込めるようグリッドの欄を用意しました。
p.8 オリジナル・ストーリー	想像を膨らませる・自分なりの視点を持たせたい	ひとつの作品を選び、タイトルを考える・物語を考えてみるといったワークで想像を膨らませます。 じっくり観察する・スケッチなどしたのちに、自分なりの視点を加えることで、考えた根拠をもちつつ自由な捉え方を促します。
p.9 ぐるっと回って 360°	彫刻を鑑賞したい	横から・後ろから見るなど、立体作品ならではの鑑賞を促します。見え方が面白い角度を探したり、その理由を考え他者と共有することで楽しみを広げます。
p.10 作家へインタビュー	表現の授業で活かしたい	作品をみたときの感想や疑問を書き出し、作者の回答を想像します。鑑賞者と作者の視点を分けて書く欄を利用することでグループでの鑑賞でもつかえます。